

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	漢方医学ゼミ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	第三校舎薬局実習室
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各種の漢方処方剤の構成と、そこで使われている生薬の効能とを学ぶことで、各種の漢方処方剤を適切に使い分けられるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点・授業態度や提出物に対する評価・小テストの得点：30 % 期末試験の得点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
『登録販売者研修テキスト』薬事日報社 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
生薬事典などを、類似した生薬同士を対比させながら読んでみたり、自分なりにまとめてみたりすると、とても良い勉強になると思われる。						
《履修に当たっての留意点》						
漢方処方剤を適切に使い分けられたなら、人生はもっと豊かで、快適で、安心なものになると思います。そんな人生の役に立つ勉強を、一緒に楽しく続けていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	かぜ薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント		
		各コマにおける授業予定	葛根湯・麻黄湯・小柴胡湯・柴胡桂枝湯・小青竜湯・桂枝湯について。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	かぜ薬や解熱鎮痛薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく	
		各コマにおける授業予定	香蘇散と、芍薬甘草湯・桂枝加朮附湯・桂枝加苓朮附湯・薏苡仁湯・麻杏薏甘湯について。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	解熱鎮痛薬や眠気を促す薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく	
		各コマにおける授業予定	疎経活血湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯・呉茱萸湯・釣藤散と、酸棗仁湯・加味帰脾湯について。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	眠気を促す薬や小児鎮静薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく	
		各コマにおける授業予定	抑肝散・抑肝散加陳皮半夏湯・柴胡加竜骨牡蛎湯・桂枝加竜骨牡蛎湯と、小建中湯について。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	鎮咳去痰薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく	
		各コマにおける授業予定	半夏厚朴湯・柴朴湯・麦門冬湯・五虎湯・麻杏甘石湯・神秘湯について。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	口腔咽喉薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	桔梗湯・駆風解毒散・駆風解毒湯・白虎加人参湯・響声破笛丸について。			
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃腸薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	安中散・人参湯(理中丸)・平胃散・六君子湯と、桂枝加芍薬湯・大黃甘草湯について。			
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	腸の薬や循環器用薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	大黃牡丹皮湯・麻子仁丸と、苓桂朮甘湯・三黄瀉心湯・七物降下湯について。			
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	痔の薬や泌尿器用薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	乙字湯・芍帰膠艾湯と、牛車腎気丸・八味地黄丸・六味丸・猪苓湯・竜胆瀉肝湯について。			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	婦人薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	温経湯・温清飲・加味逍遙散・桂枝茯苓丸・五積散・柴胡桂枝乾姜湯について。			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	婦人薬や内服アレルギー用薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	四物湯・桃核承気湯・当帰芍薬散と、茵陳蒿湯・十味敗毒湯・消風散について。			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	内服アレルギー用薬や皮膚に用いる薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	当帰飲子・葛根湯加川芎辛夷・荊芥連翹湯・辛夷清肺湯と、紫雲膏・中黄膏について。			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	歯や口中に用いる薬や滋養強壮保健薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	茵陳蒿湯と、十全大補湯・補中益気湯について。更に、黄連解毒湯・清上防風湯について。			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	肥満症に用いる薬として解釈されている漢方処方剤の使い分け方について理解できる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	防已黄耆湯・防風通聖散・大柴胡湯について。			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	いままでの講義で得た知識を使い、臨床問答を行うことができる。	テキスト 配布プリント	テキスト以外の書物を探して読み込んでおく
	各コマにおける授業予定	総まとめ			